

2021年8月30日
 JR東日本メカトロニクス株式会社
 株式会社アート

オフィスもホテルもお手持ちの「Suica」1つで入退室認証完了 『Suica スマートロック』 サービス化決定 JR東日本、JR東日本メカトロニクス、アートが3社共同で実現

JR東日本メカトロニクス株式会社（以下、JR東日本メカトロニクス）と株式会社アート（以下アート）は共同して、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR東日本）の発行する「Suica」等の交通系ICカードを入退室の鍵として利用できる『Suica スマートロック』の提供を2021年冬に開始します。

「スマートロック」は、カードやスマートフォンなどで、玄関ドアや門扉などの施錠・解錠するシステムで、鍵を使わずに開閉でき、入退室記録が確認できるなどの防犯効果があることから、近年拡大しています。

このたび、お手持ちのSuica等の交通系ICカードをスマートロックの鍵としてご利用いただけるようになりました。

『Suica スマートロック』は、アートが提供するクラウド対応の入退室管理システム「ALLIGATE（アリゲイト）」のサービスと、JR東日本メカトロニクスが提供する各種IDを連携するシステム「ID-PORT（アイディ・ポート）」を接続することで、お手持ちのJR東日本の「Suica」や「モバイル Suica」のID番号により、そのまま入退室認証を実現する新しいサービスです。JR東日本が提供する「Suica 認証情報提供サービス」を活用し、SuicaのIDの安全な管理にも配慮した仕組みを実現することで、JR東日本公認のサービスとしてご利用いただけるようになりました。



■開発の背景

コロナ禍で移動に対する考え方や移動する目的は多様化しています。通勤や通学においてリモートが急激に浸透し、自宅だけでなく“コワーキングスペース”や“ホテル”“カフェ”などで仕事や勉強をする人も増えています。また、非接触、キャッシュレスの意識も高まり、ICカード利用が拡大しています。

その中で、ユーザーからは交通系ICカード、社員証、その他移動先の入退室で発行されるカードなど、複数のカードを使い分けるケースも多く、複数のカードを持つことの煩雑さやセキュリティへの不安があり、「1つで全てを対応したい」という声がありました。

カードシステムを管理する事業者からは、カード発行コストの軽減、登録・削除の手間の軽減、効率化を目的としたクラウドによる遠隔対応への切り替えなどの要望があります。一方、システムを提供する各メーカーでは、品質保証観点からの単一メーカーでのシステム構築が多く、マルチな認証媒体を提供しているメーカーが少ない点や、オンプレミス中心のシステム構成からクラウドへの展開ができないなどの課題がありました。

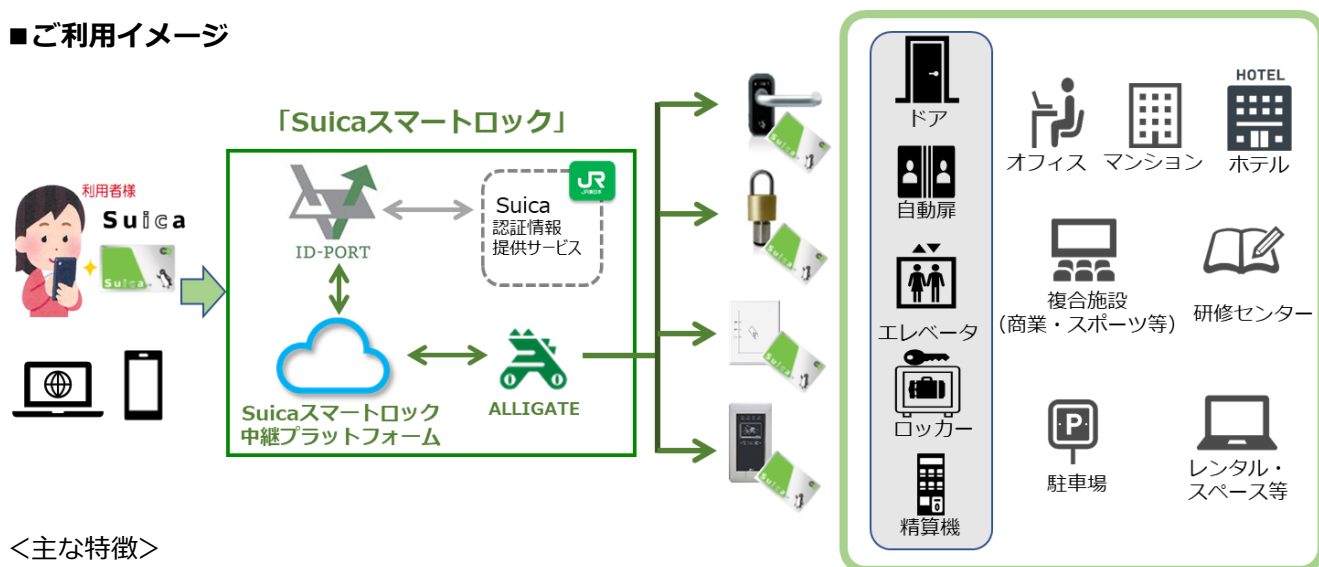
このたび、鍵業界として初めてJR東日本の「Suica 認証情報提供サービス」を活用のうえ、スマートロックで「Suica」を利用できることとなりました。ユーザーは「Suica」や「モバイル Suica」を鍵として利用できる施設

やサービスが増えることで利便性が向上し、事業者様はシステム管理者の手間の軽減、効率化が大幅に向上することが見込めます。

■ Suica を活用したスマートロックの入退室管理市場への広がり

『Suica スマートロック』は、多くの人が入退室する「オフィスビル」「マンション」や「研修センター」、ルームキーの発行を行う「ホテル」、定期月極利用で駐車券発行がある「パーキング」など、入退室管理の施設と連携することができ、ユーザーは「Suica」で様々な場所へ入退室できるようになります。

■ ご利用イメージ



<主な特徴>

- カード・テンキー・顔認証とも連携可能
- スマートロックから電気錠セキュリティ、様々な設備機器との連携可能

■ 新たに実現できるサービス

① お手持ちの「Suica」を入退室の鍵に

既存の扉への施工が容易でローコストで導入できるというスマートロックの特徴に加えて、日頃お使いいただいている Suica をそのまま入退室の鍵としてお使いいただけます。お手持ちの Suica をご利用いただくため、管理側でのカード発行が不要になり、管理コストも軽減されます。

② Suica のオンライン登録が可能に

オンラインにて Suica を登録することができるため、対面での手続きが不要となり、人との接触回避や業務の省力化に繋がります。ユーザーはお手持ちの Suica カード裏面の番号やモバイル Suica の ID をご自身で入力していただきます。また、複数枚登録することが可能なので、利便性が向上します。

③ クラウドの活用で専用サーバが不要に

クラウドの活用により一時的な期間・時間限定での入室者登録ができる「ゲスト予約」機能等、より柔軟なご利用が実現します。また、入退室のログも、サーバ容量に制限されることなく保管できるようになります。

④ 多様なラインナップ端末の設定が可能に

これまで、Suica 専用の端末や専用のサーバ群が必要でしたが、クラウド化することで、汎用のリーダーやスマートロックを活用するなど、選択・導入が容易になります。導入用途に応じて多様な種類の端末の選択が可能となり、適切な導入プランが検討可能となります。

※Suica とそれ以外の交通系 IC カードでは、運用方法等が一部異なる場合がございます。

■導入想定箇所・時期

『Suica スマートロック』は、2021 年 12 月頃のサービス開始と同時に各施設への導入を進めてまいります。導入施設は、オフィス、ホテル、マンション、商業・スポーツ等の各種複合施設、研修センター、駐車場、ロッカー等を想定しています。

【関係システム・企業情報】



【ID-PORT (アイディ・ポート) について】

「ID-PORT」は、JR東日本メカトロニクスが提供するクラウド型プラットフォームで、各種 ID を連携することにより新しいソリューションを展開しています。Suica の ID 認証のほか、顔認証、QR 等と、各施設やサービスの ID を連携することにより、新しいサービスを提供しています。具体的には、メール配信システム、バスシステム、時間課金型システム等、各システムと API 接続することで、単独でシステムを開発するよりも、効率的なサービス展開を実現しています。



【ALLIGATE (アリゲイト) について】

「ALLIGATE」は、アートが運営するクラウド型プラットフォームで、扉の鍵などの利用権の付与・抹消、利用履歴の確認などの入退室管理に必要な機能の共通化を行っています。また、機器の取り付けや運用後の現地での保守サポートも併せ持ったマネージド型プラットフォームです。

クラウド型のアクセスコントロールの実現に関しては独自の方式を考案して特許を取得しています。

【会社概要】

企業名 : JR東日本メカトロニクス株式会社
代表者 : 代表取締役社長 川野邊 修
本社所在地 : 東京都渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿メインズタワー
設立 : 1992年4月1日
資本金 : 100,000,000円
従業員数 : 1,400名(2021年4月)(連結)
事業内容 : 企画からメンテナンスまでワンストップサービスを提供
駅機械設備製造、ICカード・電子マネーソリューション、コンサルティング等
ホームページ : <https://www.jrem.co.jp/index.html>

【会社概要】

企業名 : 株式会社アート
代表者 : 代表取締役社長 関本祥文
本社所在地 : 東京都品川区東五反田1-25-11 五反田一丁目イーストビル
代表 TEL : 03-3447-1401
創業 : 1976年1月14日
設立 : 2003年8月1日
資本金 : 42,360,000円
従業員数 : 146名(2021年4月)(連結)
事業内容 : 各種建築物の出入管理システム及び統合管理システムの開発
上記システムに付随する各種装置の設計及び製造販売

介護用システム機器の製造販売、前各号に関する施工及びサービス業務
建築金物及び建築設備資材の販売・施工

ホームページ : <https://www.art-japan.co.jp/>

「ALLIGATE」 : <https://alligate.me/>

※「Suica 認証情報提供サービス」「ID-PORT」「ALLIGATE」を連携し、Suica での入退室を認証するスマートロックシステム
については東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本メカトロニクス株式会社、株式会社アートの三社が共同で特許出願中
です。

※「Suica スマートロック」の名称は、東日本旅客鉄道株式会社が商標登録出願中です。

※「Suica」・「モバイル Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「ID-PORT」は JR 東日本メカトロニクス株式会社の登録商標です。

※「ALLIGATE」は、株式会社アートの登録商標です。

※「ALLIGATE」は、株式会社アートが取得している特許技術を利用したサービスです。

■ 『Suica スマートロック』 ホームページ

<https://www.suica-lock.jp/>

【報道関係者 お問い合わせ】

Suica スマートロック 広報事務局

担当：柴山（070-1389-0172）

E-mail : pr@netamoto.co.jp TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788